

# 【岐阜地区研究テーマ】

人生100年時代に生きる  
私たちの未来を拓く

～高齢社会を自分事として捉えるための探究的な学習活動の工夫～

# 発表内容

- 1 研究のねらい
- 2 地区研究のあゆみ
- 3 本校の研究実践
- 4 成果と今後の課題

# 1 研究のねらい

- 高齢社会を**自分事**として捉えるための**探究的**な学習活動の工夫。
- 高齢者インタビューやロールプレイなどを通して**人生100年時代**を生きるための**課題**と**解決策**を考えることができる。

## 2 地区研究のあゆみ

6月 研究テーマ、内容の確認

7月 講演会と研究協議（会場：本巣松陽高等学校）

11月 A 研究授業と研究協議（会場：長良高等学校）

B 研究授業と研究協議（会場：各務原西高等学校）

# 3 本校の研究実践

(1) 実態把握

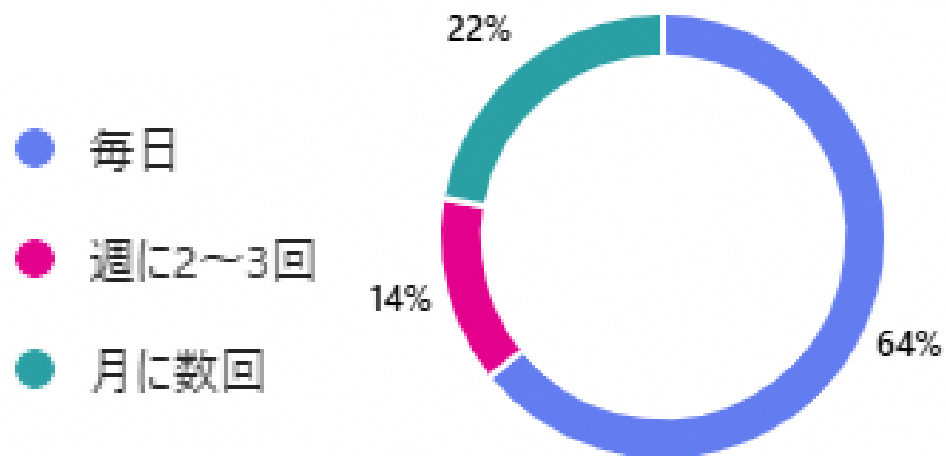
(2) 単元計画

(3) 授業実践

# (1) 実態把握

## ◆祖父母と同居 15%

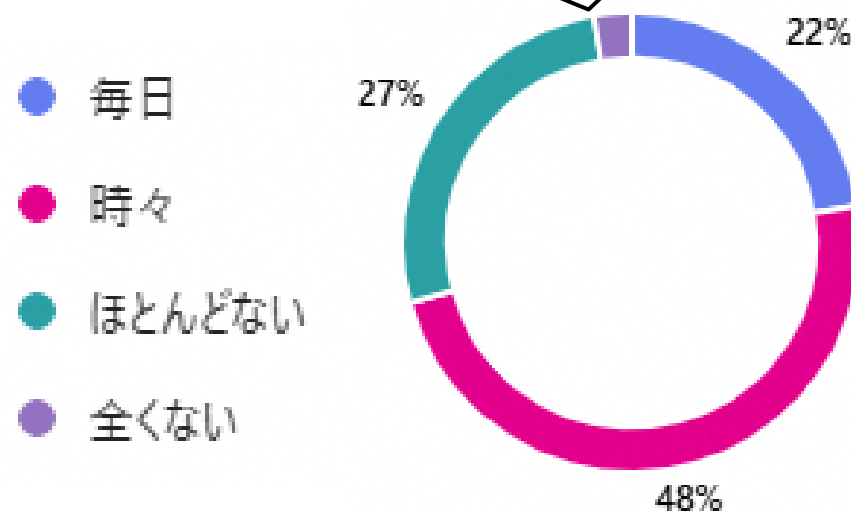
毎日会話 64%



## ◆高齢者と接する機会

ほとんどない

全くない 30%



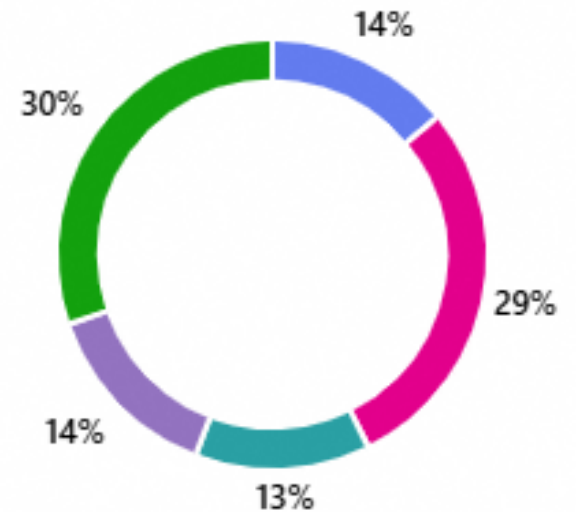
# (1) 実態把握

◆ 高齢者が困っている所を見かけた **48%**

◆ 困っていた時  
声をかけた助けた  
いいえ **35%**

理由

- 急いでいた
- 声のかけ方が分からない
- 助ける方法が分からない
- 1人では不安だった
- その他



◆ 高齢者福祉について相談したり助けてもらおう所を  
知っている **19%**

## (2) 単元計画

### 【単元を貫く課題】

高齢者の生活や高齢者の心身について理解し、人生100年時代を生きるための課題と改善策を考える。

## (2) 単元計画

- 1) 高齢者を知る→インタビュー1  
自分の今と高齢期の生活
- 2) 高齢社会、心身の特徴
- 3) 高齢者の生活、介護保険制度
- 4) 介護をめぐる課題→ロールプレイ
- 5) 認知症について→認知症サポーター養成講座
- 6) 困りごとと改善策→インタビュー2  
50年後の理想の高齢期

研究授業

## (3) 授業実践 | 時間目

**ねらい** 高齢者インタビューを通して高齢者の生活や困りごとを知り、改善したいことや、自分の今と高齢期の生活をどのようにしたいか考えをまとめことができる。

### ◆事前学習

### 高齢者インタビュー

- A 家族・地域
- B 遊び・好きな○○
- C 将来の夢
- D 困っている・不安
- E 生き方

1) グループで事前学習を発表

2) A～E項目別に発表

3) グループに戻り報告

困りごとの  
グループテーマ  
決定

### 『生徒の振り返り』

- ・健康面での不安  
→栄養バランスの良い食事、運動
- ・全力でやりたいことをする  
→楽しみ、生きがい

## (3) 授業実践 2時間目

**ねらい** 日本の**高齢社会**の現状や加齢に伴う高齢者の**心身**の変化と特徴を理解する。

- 1) 高齢者とは
- 2) 高齢社会の現状と課題
- 3) 高齢者の心身の特徴  
認知症  
→ **絵本**を活用

- 『生徒の振り返り』
- ・ 不便な生活、孤独感  
→ **話し**をする  
優しく**接する**
  - ・ 長生きしたい  
→ 孫の成長を**生きがいに**

## (3) 授業実践 3時間目

**ねらい** 高齢者と家族のかかわり、**経済生活**、**介護保険制度**について理解する。

1) 高齢者の生活

2) 高齢者の生活の課題

3) 高齢社会を支えるしくみ  
介護保険制度

→ **クイズ**形式

『生徒の振り返り』

- 支援や介護が難しい  
→ **相談**できる施設  
**介護サービス**
- ヤングケアラー、老老介護  
→ **地域**で支える  
**自分事**として考える



## (3) 授業実践 5時間目

**ねらい** 認知症について理解し、接し方を考え、実践しよう  
とすることができる。

### ◆岐阜県認知症サポーター養成講座

講師：岐阜市地域包括支援センター長良

- 『生徒の変化 受講前 → 受講後』
- 認知症は特別なこと → 誰もがなりうるもの
  - 行動を特別に変える → 話を聞く、尊重する
  - 優しく見守るだけ → 意思、自尊心を尊重する  
思いやり
  - 助けなくはいけない → 寄り添う、声かけをする  
挨拶をする

# (3) 授業実践 6時間目【研究授業】

**ねらい** 高齢者の**困りごと**についての**改善策**を意見交流し、**高齢期**の自分や社会はどうありたいか、そのために準備しておくことや大切なことを考えることができる。

## ◆事前学習 高齢者インタビュー

困っている・不安・不便なこと

グループテーマ

### 身体や健康

- ・ 足腰の痛み
- ・ 感覚機能の低下
- ・ 高血圧や糖尿病などの病気
- ・ 骨折や怪我
- ・ 認知症への不安

### 家庭生活

- ・ 調理や食事
- ・ 洗濯、掃除などの家事
- ・ 家の段差、修繕
- ・ 買い物、移動、車の免許
- ・ スマホの使い方、情報収集

### 経済

- ・ 年金、老後の資金
- ・ 収入減少、物価上昇
- ・ 悪質商法、詐欺
- ・ 仕事、就労機会

### 地域社会とのつながり

- ・ 話し相手、地域の見守り声かけ
- ・ 公共交通機関
- ・ 趣味や生きがいとなる地域のコミュニティ
- ・ 介護サービス
- ・ 災害時の不安

改善（予防）に向けて調べ、アイデアを考える

- ・ **自分や家族**でできそうなこと
- ・ **地域社会**でお願いしたいこと

## (3) 授業実践 6時間目【研究授業】

- 1) グループで事前学習を発表
- 2) 改善策を意見交流
- 3) アイデア発表
- 4) 理想の高齢期を  
マインドマップ風に表現  
文章でまとめる
- 5) 発展（ホームプロジェクト  
や学校家庭クラブ活動）

- 『生徒の振り返り』
- ・健康、長生き  
→運動、食事
  - ・楽しく生きる  
→生きがい、趣味、  
マネープラン
  - ・困ったときの助け合い  
→人とのかわり
  - ・自立、有意義  
→健康づくり、人間関係  
資産形成

# (3) 授業実践 6時間目【研究授業】

## 実践後の評価結果 【思考・判断・表現】

	学習活動における 具体の評価規準 (B)	「十分満足できる」と 判断される状況 (A)
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 困りごとについての改善策をグループで意見交流し、高齢期（50年後）の自分や社会について、<b>理想の高齢期を表現</b>し、そのために準備しておくことや大切なことをまとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 困りごとについての改善策を記録しながらグループで意見交流し、高齢期（50年後）の自分や社会について、<b>理想の高齢期を具体的に表現</b>し、そのために準備しておくことや大切なことを<b>様々な視点</b>でまとめている。</li> </ul>
生徒の状況 (%、行動)	<p><b>26%</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢期（50年後）の自分と社会の理想の高齢期をマインドマップ風に記入できている。</li> <li>・ 思いつくままマインドマップ風に記入したものを、準備しておきたいことや大切に生きていきたいことについて文章にまとめている。</li> </ul>	<p><b>74%</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢期（50年後）の自分と社会の理想の高齢期をマインドマップ風に数多く記入できている。</li> <li>・ 思いつくままマインドマップ風に記入したものを、準備しておきたいことや大切に生きていきたいことについて具体的に表現し、文章にまとめている。</li> </ul>
記述例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何でも自分でできる高齢者になりたいと思ったので、運動や貯金などの準備をしっかりとっておきたいと思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康に長生きしたいので、散歩や運動をしたり栄養バランスの良い食事をとったりしたい。また、楽しく生きるために、生きがいとなる趣味を見つけたり、お金の計画を立てたりしていきたい。災害時など困ったときにも助け合えるような人との関わりを大切にしていきたい。</li> </ul>

## (3) 授業実践 6時間目【研究授業】

### 研究授業の成果と課題

#### 【成果】

- ・ 祖父母への思いやり
- ・ 困りごとを理解
- ・ 改善策の考案
- ・ 考えを整理
- ・ 自分事

#### 【課題】

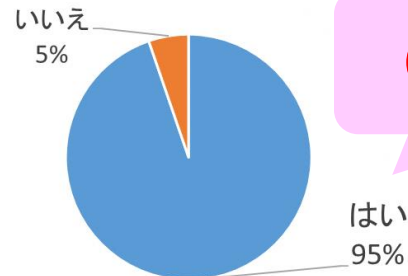
- ・ インタビューの質問  
→ 深掘り
- ・ マインドマップ風の項目  
→ 「知りたいこと」  
深い学び

# 4 成果と今後の課題

## (1) 生徒の変容

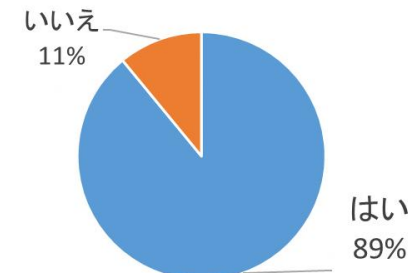
- ◆困っている時、声をかける助ける  
実践前できななかった 65% → 実践後できそう 90%
- ◆相談・助けてもらう所を知っている  
実践前 19% → 実践後 90%

認知症サポーター養成講座受講者



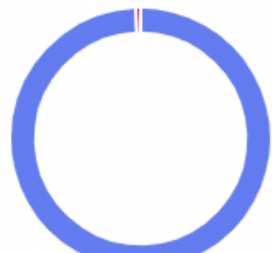
6%多い

受講していない



# (1) 生徒の変容

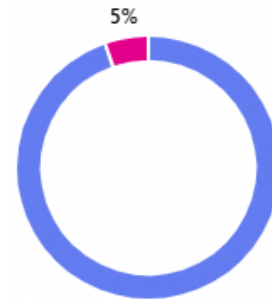
◆高齢者がどのようなことに困っているか分かった



● はい  
● いいえ

99%

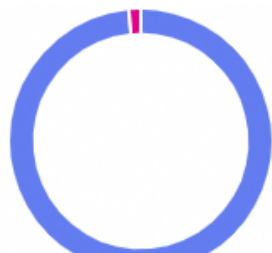
◆困り事について解決につながる方法があることが分かった



● はい  
● いいえ

95%

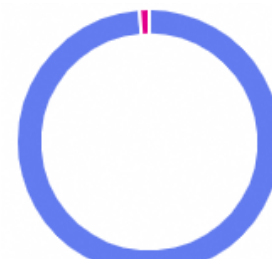
◆高齢者とコミュニケーションをとり改善していくことの大切さを感じた



● はい  
● いいえ

99%

◆学習前と比べて自分の高齢期の生活や社会を考える事ができた



● はい  
● いいえ

99%

## (2) 成果と課題

### 【成果】

- 高齢者**理解**
- 立場で**思考**
- 認知症の**理解**
- **深い**学び
- **自分事**

### 【課題】

- **自分事**として捉えられる授業の工夫  
→ 体験、課題解決
- **ホームプロジェクト**、**学校家庭**クラブ活動につなげる  
→ 実践